

2024年12月期 3Q決算説明資料

東証スタンダード 2597

株式会社ユニカフェ

2024年1月1日~2024年9月30日



決算の概況

～連結～

決算概況：業績ハイライト

顧客志向を原点とした提案型営業による高付加価値製品の販売増、並びに製造経費および販売管理費の抑制に努めた結果、売上高、営業利益ともに前年同期を上回る。

売上高

9,357 百万円

前年同期比(増減)

+102.8% (+250百万円)

営業利益

382 百万円

前年同期比(増減)

+139.2% (+107百万円)

取扱数量

24,941 トン

前年同期比(増減)

△0.3% (△83トン)

(百万円)

	2023年12月期 3Q (2023年1月1日~2023年9月30日)		2024年12月期 3Q (2024年1月1日~2024年9月30日)	
	(連結)	(対売上高比)	(連結)	(対売上高比)
売上高	9,106	100%	9,357	100%
営業利益	275	3.0%	382	4.1%
経常利益	275	3.0%	381	4.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	306	3.4%	268	2.9%
E B I T D A	583	6.4%	719	7.7%
R O E	5.2%		4.3%	

(百万円)

2024年12月期 3Q (2024年1月1日～9月30日)								
	(当社)	対売上高 比	(アート コーヒー)	対売上高 比	(連結調整)	(連結)	対売上高 比	
売上高	7,866	100%	3,066	100%	△1,574	9,357	100%	
営業利益	237	3.0%	93	3.0%	51	382	4.1%	
経常利益	283	3.6%	95	3.1%	2	381	4.1%	
当期純利益及び 親会社株主に帰属する 四半期純利益	201	2.6%	66	2.2%	1	268	2.9%	

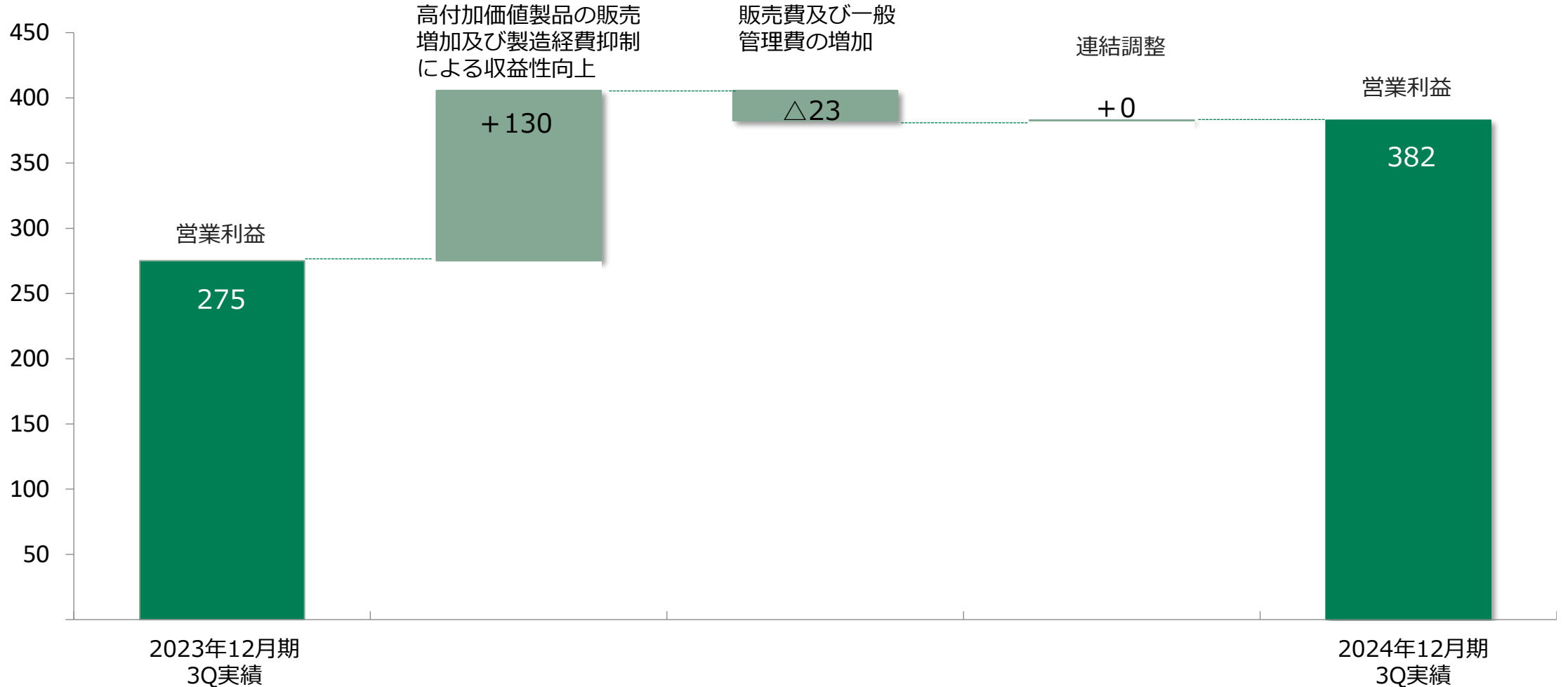
自己資本比率は前連結会計年度末比6.4%p上昇し50.7%

(百万円)

		2023年12月期 (連結)	2024年12月期 3Q(連結)	増減額
資産の部	流動資産	8,271	6,923	△1,347
	固定資産	5,648	5,553	△95
	資産合計	13,919	12,477	△1,442
負債の部	流動負債	5,680	4,723	△956
	固定負債	2,077	1,425	△652
	負債合計	7,758	6,148	△1,609
純資産の部	株主資本	6,161	6,328	166
	評価・換算差額等合計	0	1	0
	純資産合計	6,161	6,329	77
負債純資産合計		13,919	12,477	△1,442
自己資本比率		44.3%	50.7%	6.4%p

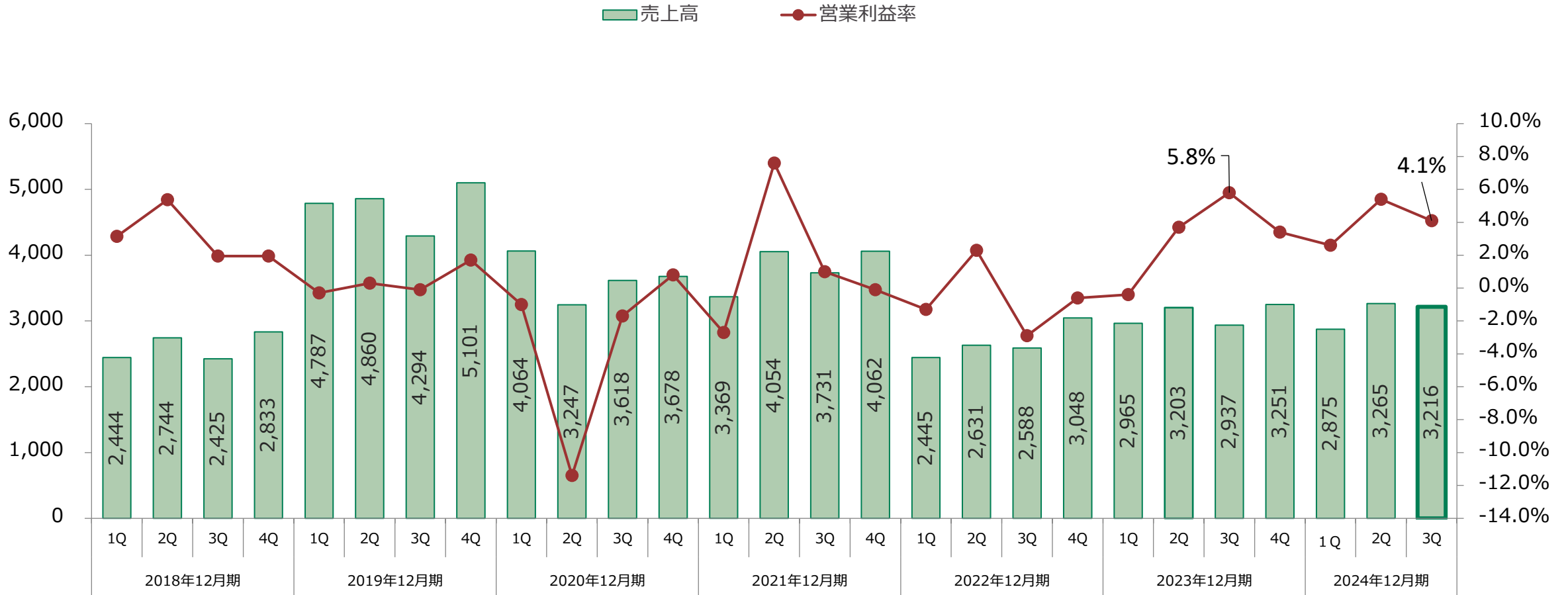
当第3四半期連結会計期間の営業利益 382百万円

(百万円)



主な指標

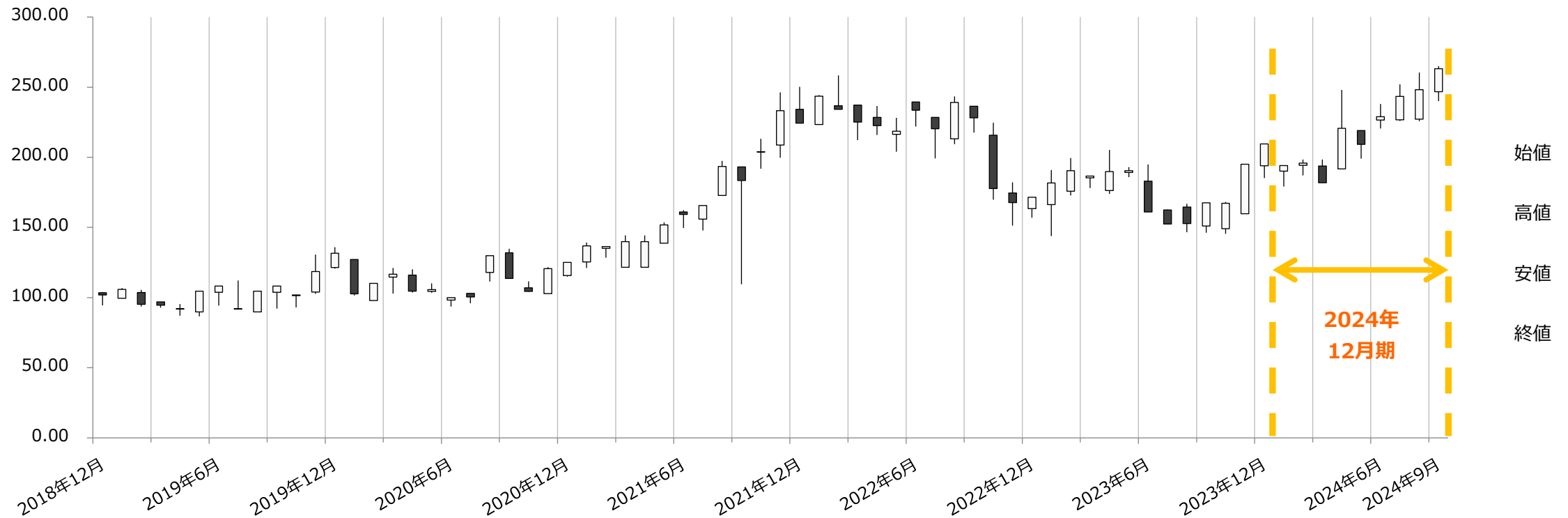
四半期業績の推移



※1. 2019年12月期より連結決算となっております。
 ※2. 2022年12月期の期首より収益認識会計基準を適用しております。

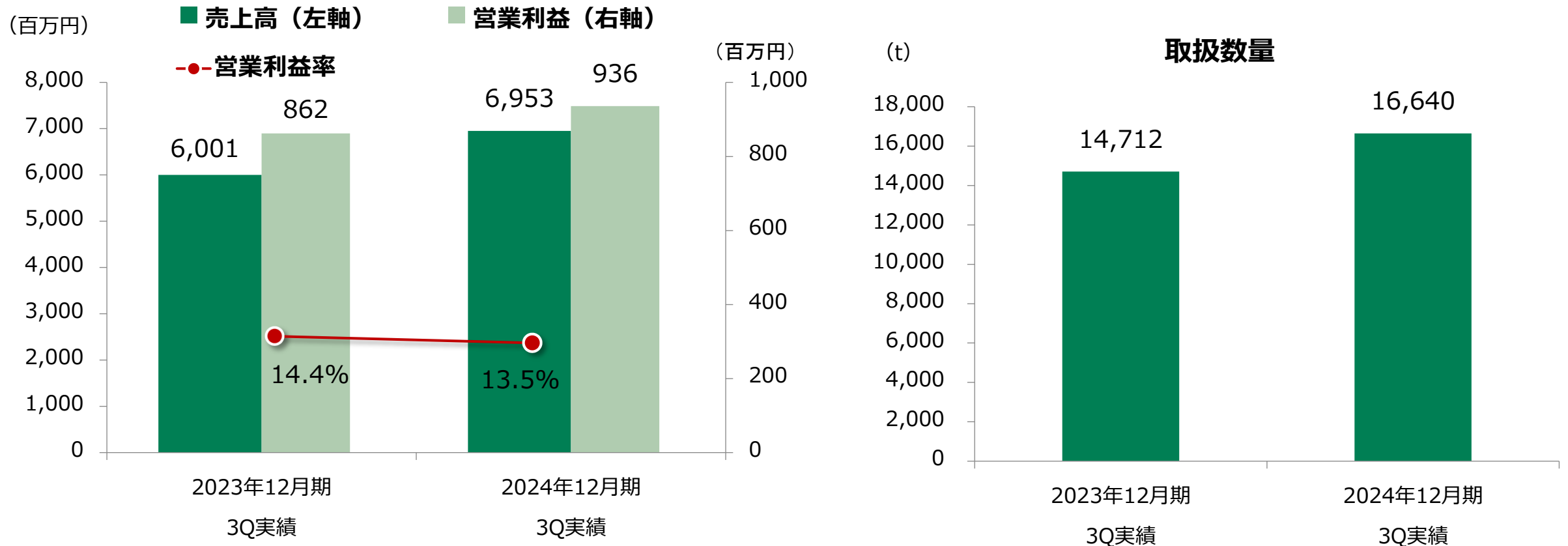
円安傾向の長期化や原産国の天候不順に伴う減産予想等により、
コーヒー生豆調達価格は記録的な高値水準となっている

(¢/ポンド)



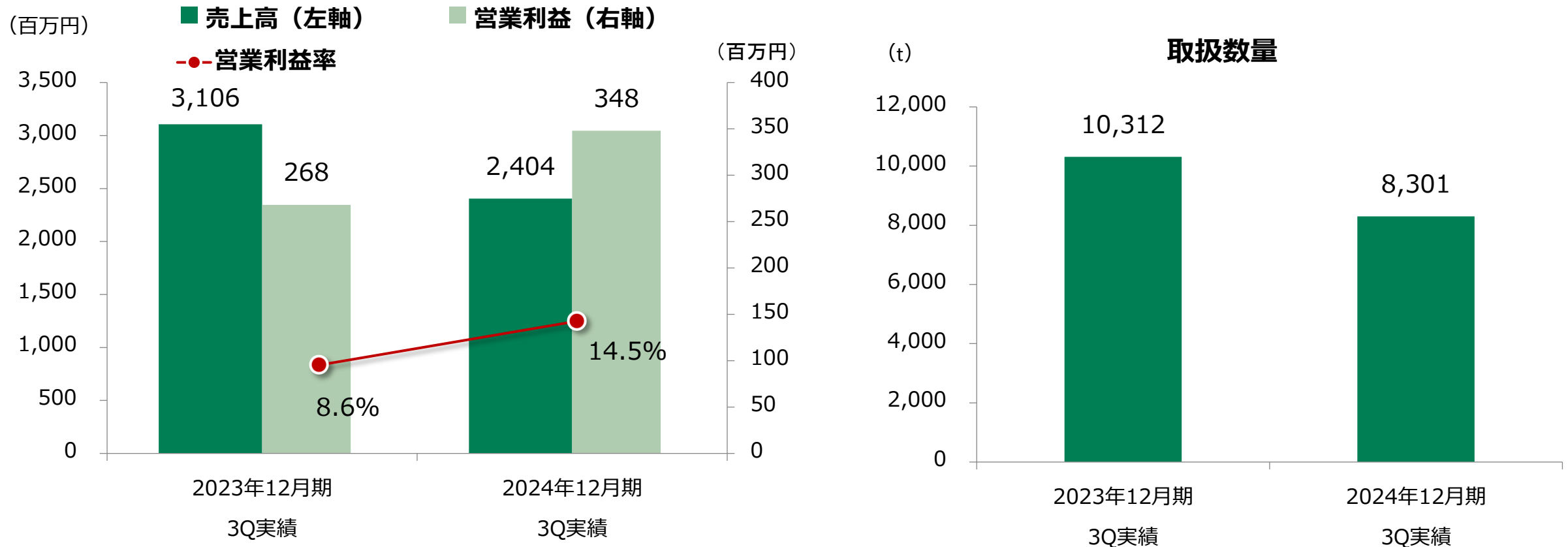
チャンネル別の業績（業務用）

人流の活発化やインバウンド需要の拡大による消費の回復と、提案型営業による高付加価値製品の販売が増加したことにより、売上高、取扱数量ともに昨年を上回る。



チャンネル別の業績（工業用）

主要取引先の一部において取扱数量が減少したことで、売上高、取扱数量ともに昨年を下回る。



業績予想

2024年12月期連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前年同期比）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
前回発表予想	11,990	△3.0	360	△6.6	360	△5.7	260	△41.3	19.44
今回修正予想	13,000	5.2	450	16.8	450	17.9	350	△21.0	26.16
（ご参考） 前期実績 2023年12月期	12,357		385		381		442		33.12

前回通期の連結業績予想を公表した2024年2月14日時点と比較し、コーヒー生豆調達価格が想定よりも高く推移した影響により、得意先への販売価格も連動した結果、「売上高」は前回公表値を上回る見通し。
また、利益面では、高付加価値製品の販売増加、製造経費抑制による収益性向上により、「営業利益」、「経常利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」は前回公表値を上回る見通し。

• 免責事項

- 本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社の将来の業績と異なる可能性があります。
- なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。
- また、本資料に記載されている当社以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

• インサイダー取引に関するご注意

- 企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。
- 同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト）により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。